

丸亀ドイツ兵俘虜関係年表

1914年(大正3年)

7月28日	第一次世界大戦勃発
8月23日	日本はドイツに宣戦布告
9月12日	青島(チンタオ)で最初の戦闘
11月16日	青島より俘虜324名(将校7, 准士官21, 下士卒296)門司港経由で多度津港へ到着、塩屋別院、丸亀市船頭町看護婦養成所跡 ニカ所(正式には丸亀俘虜収容所)へ収容
11月18日	ランセル大尉ならびに高級古参下士ブンゲより四つの願い出あり (①食事の量を増す ②麦酒を飲ませること ③酒保を開くこと ④将校には自由に散歩を許すこと)
11月19日	午後3~5時酒保を開く。菓子類、果物類、たばこ、ビールなどを販売
11月20日	中津公園に初めて散歩する。同日初めて宣教師が俘虜を慰問
11月27日	丸亀市街方面へは、初めての散歩。同日、俘虜の妻、初めての面会
11月30日	フットボール1個を支給
12月1日	この日から下士卒以下の自炊を許可
12月4日	将校に給料を支給
12月22日	丸亀市長の俘虜慰問
12月24日	クリスマスを祝う
12月26日	クリスマス最終日、演芸なども行われる

1915年(大正4年)

1月10日	第1回寺院楽団演奏会(この年、寺院楽団として3回音楽会を開催、その後解散、再結成された丸亀保養楽団によって7回開催される)
2月18日	土工器具を俘虜に貸して排水を良くさせる
4月20日	健康保全のため平行棒と跳越台を支給
6月2日	塩屋海岸にて海水浴を開始
6月6日	俘虜アマンドゥス・テンメ死亡(十二指腸虫による)
6月11日	小鳥数羽の飼育許可(犬の飼育の記録もあり)
7月25日	音楽合唱会を催す
8月27日	月例身体検査(体重増加の傾向にあり)
10月20日	駒ヶ林陸軍墓地(現丸亀市土器町)のテンメの墓に255名が墓参
10月23日	東練兵場で運動
12月19日	娯楽会で、こっけい芝居、落語、舞踏、音楽伴奏が行なわれる

1916年(大正5年)(この年、丸亀保養楽団として12回音楽会を開催)

2月12日	俘虜2名が脱走 翌々日、辻村(現三豊市山本町)で発見
4月12日	石井彌四郎所長から納富廣次所長に交代
5月10日	金倉川堤防沿いを通して金蔵寺までの往復を遠足
5月12日	運動会を開催
5月28日	器械体操を行う
5月30日	活動写真撮影を行う
6月6日	テンメ一周忌のため墓参
7月19日	伍長ヘルマン・スタインメッツ楽器購入のため丸亀市に出向く
7月28日	丸亀市長の俘虜慰問。絵葉書、タオルを寄贈
7月30日	こっけい芝居と音楽会を開催
8月12日	俘虜2名が食パン納入商人の製造所を見学
8月18日	俘虜27名が木工具等購買のため丸亀市に出向く
8月19日	俘虜3名が指物用板等購買のため丸亀市に出向く
9月11日	俘虜2名がブリキ細工用材料購買のため丸亀市に出向く
10月4日	大分に俘虜将校7名が転出
10月9日	大阪、久留米、青野原(兵庫県)から俘虜17名が転入
10月20日	丸亀市四国製作品品評会に俘虜8名が見学
10月21日	俘虜エンゲル(音楽教師)、スタインメッツ丸亀高等女学校で、試験的に演奏
11月4日	丸亀高等女学校の書記長谷川首次郎が収容所に来て、俘虜音楽教師について協議
11月23日	俘虜2名が脱走 翌日、六郷村下金倉海岸で発見

1917年(大正6年)(この年、丸亀保養楽団として4回音楽会を開催)

1月9日	俘虜中の指物師と建築技師の2名が香川県立工芸学校で技術指導をするため高松へ通勤開始(この日以降、数度にわたり実施)
2月4日	鞞革(なめしがわ)試作を開始
3月1日	俘虜5名、菓子製造のため、丸亀市に出向く
3月10日	俘虜製作品展覧会を近くの寺で開催(翌日も)
4月7日	俘虜328名、多度津港から小松島港を経て、板東収容所に移転収容される